

福島第一原子力発電所 1号機 天井クレーン支保設置作業完了に伴う原子炉建屋ガレキ落下防止・緩和対策の完了について

< 参 考 資 料 >
2020年11月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 1号機では使用済燃料プール（以下「SFP」）からの燃料取り出しに向けて、原子炉建屋上部のガレキ撤去作業を行っています。
- 今後、南側崩落屋根のガレキ撤去により、天井クレーンや燃料取扱機（以下「FHM」）に位置ずれや荷重バランス変動が発生し、天井クレーンが落下し、ダストが飛散するリスクおよび燃料等の健全性に影響を与えるリスクを低減するため、11月11日から天井クレーンに支保を設置する作業を実施しています。
- 11月11日にオペレーティングフロア（以下「オペフロ」）および西側作業床上への支保台車走行用レール（以下「レール」）の設置作業を行い、11月19日に天井クレーン北側ガーダのV字変形部下部への支保台車設置作業を行い、11月20日に支保台車上部の支保バッグ内部へのモルタル充填作業を行いました。
- 本日（11月24日）オペフロ上のレールと、西側作業床上のレールの切り離し作業が完了したことに伴い、天井クレーン支保設置作業が完了しました。
- これにより、今後、南側崩落屋根のガレキ撤去の際、万が一、天井クレーンやFHMに位置ずれや荷重バランス変動が発生した場合においても、天井クレーン落下に伴うダスト飛散のリスクおよび燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減ができたとともに、本年（2020年）3月17日から実施（※）している原子炉建屋上部におけるガレキ落下防止・緩和対策が完了しました。
- 引き続き、1号機周辺のヤード整備や、原子炉建屋に残置されているカバーの解体作業等を行い、2027年度から2028年度に開始予定の燃料取り出し作業に向けて、安全を最優先に、慎重に作業を進めていきます。

※：オペフロ等における準備作業含む



➡：図2の撮影方向 ➡：図5,6の撮影方向範囲 ✂：Xブレース撤去箇所 〇：機器ハッチ養生設置箇所

図1.ガレキ等落下防止・影響緩和対策の概要



図2.天井クレーン支保設置作業完了後の状況
(11月24日撮影)

【参考】遠隔操作室・オペフロ等の状況



図3.遠隔操作室における作業状況



図4.支保台車走行用レール吊り上げ作業の状況(11月11日撮影)

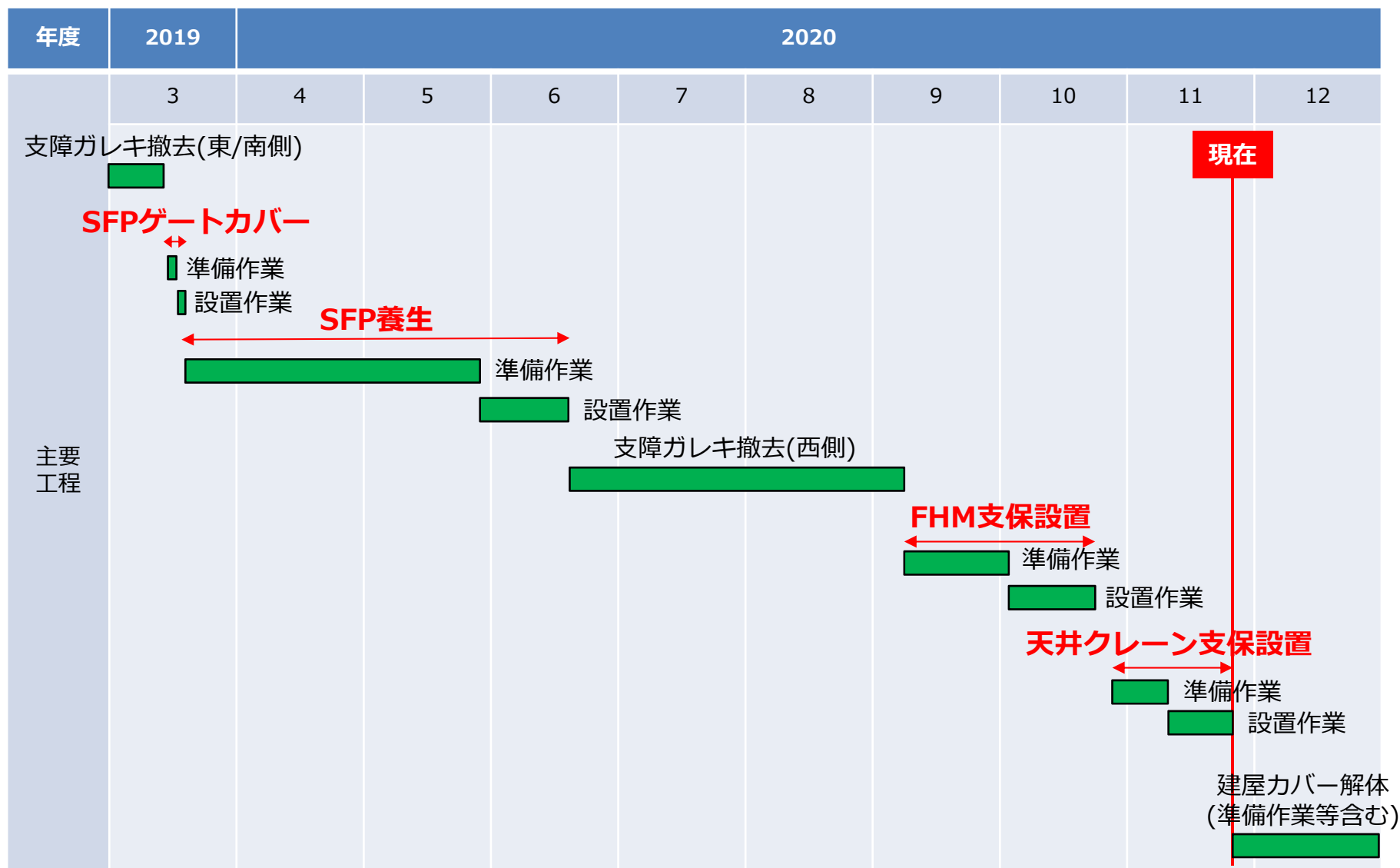


図5.支保台車設置作業後(モルタル充填作業前)の状況(11月19日撮影)



図6.支保バッグ内部へのモルタル充填作業後の状況(11月20日撮影)

【参考】スケジュール



※各工程にはトレーニング、準備期間等含む。